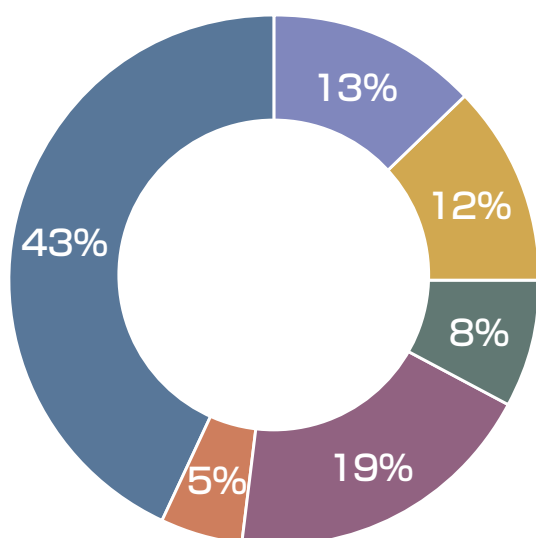


2020年度中間期  
事業本部別営業純益\*1 **7,354**億円\*2



|                      |         |
|----------------------|---------|
| 法人・リテール事業本部          | 1,091億円 |
| コーポレートバンキング事業本部      | 973億円   |
| グローバルCIB事業本部         | 657億円   |
| グローバルコマーシャルバンキング事業本部 | 1,510億円 |
| 受託財産事業本部             | 366億円   |
| 市場事業本部               | 3,492億円 |

注記 \*1 管理計数。決算レートで算出

\*2 本部・その他の計数を含む

## 法人・リテール事業本部

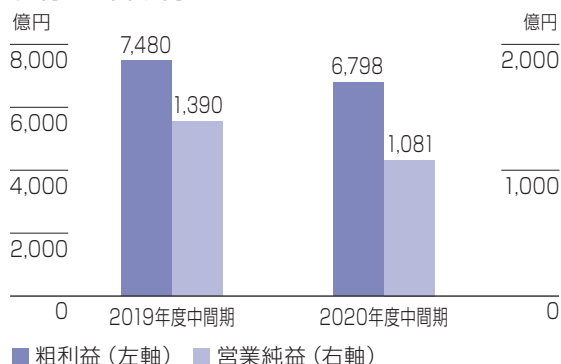
国内の個人や中堅中小企業のお客さまを対象に、住宅ローン、コンシューマーファイナンス、事業者向け貸出、資金決済、資産運用から相続や不動産など幅広い金融サービスの提供、事業・資産承継といったソリューション提供などを通じて、多様なニーズにグループ体でお応えしています。

### 2020年度中間期の業績<sup>\*1</sup>

米国金利低下等による預金収益の減少に加え、新型コロナウイルス感染症拡大によりカード決済や外為、不動産ビジネス収益が減少したことで、粗利益・営業純益ともに前年同期比で減少しました。

<sup>\*1</sup> 管理計数。現地通貨ベース。粗利益、営業純益にはコーポレートバンキング事業本部のオーナー収益、海外日系企業収益を含む。

### 粗利益／営業純益



## コーポレートバンキング事業本部

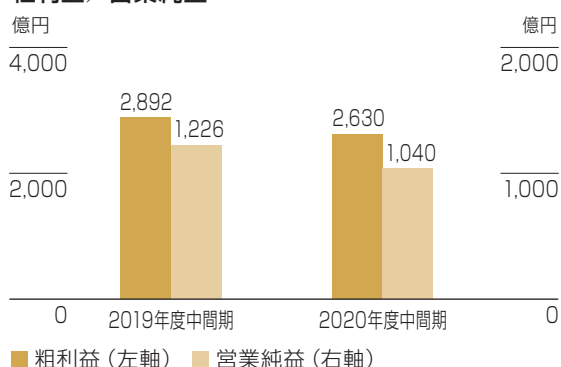
グローバル化が進む日系大企業のお客さまを対象に、貸出や資金決済、外国為替などのサービスや、M&Aや不動産関連ビジネスなどグループ各社の専門性を活かした総合的なソリューション提供を通じて、お客さまの企業価値向上に貢献しています。

### 2020年度中間期の業績<sup>\*1</sup>

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う企業の資金需要の高まりにより、貸出資金収益が増加しましたが、米国金利低下等による預金収益の減少や証券プライマリー収益および外為収益の減少により、粗利益・営業純益ともに前年同期比で減少しました。

<sup>\*1</sup> 管理計数。現地通貨ベース。粗利益、営業純益には法人・リテール事業本部のオーナー収益、グローバルコマーシャルバンキング事業本部に帰属するクルンシィ（アユタヤ銀行）・バンクダナモンの日系企業収益を含む。

### 粗利益／営業純益



## グローバルCIB事業本部

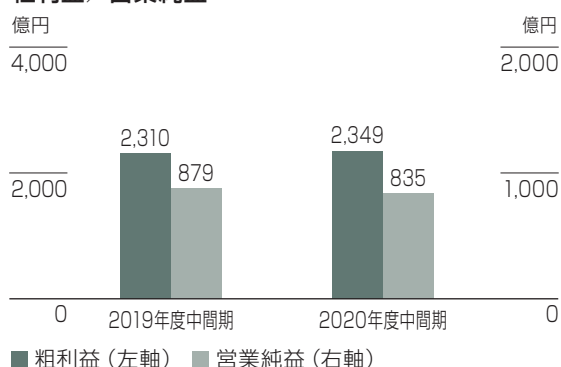
グローバル大企業のお客さまを対象に、商業銀行機能と証券機能を中核にグループ体で付加価値の高いソリューションを提供するコーポレート&インベストメント・バンキング（CIB）ビジネスを展開しています。

### 2020年度中間期の業績<sup>\*1</sup>

資金需要をとらえた証券プライマリー収益の増加などにより、粗利益は前年同期比で増加しましたが、マーケット低迷による手数料収益の減少、事業買収関連の一時費用の増加などにより、営業純益は前年同期比で減少しました。

<sup>\*1</sup> 管理計数。現地通貨ベース。粗利益、営業純益にはグローバルコマーシャルバンキング事業本部に帰属するクルンシィ（アユタヤ銀行）の非日系大企業収益、法人・リテール事業本部・コーポレートバンキング事業本部の本邦外資系企業収益、市場とのジョイントベンチャー収益を含む。

### 粗利益／営業純益



## グローバルコマーシャルバンキング事業本部

出資先である米国のMUFGUニオンバンクやタイのクルンシィ（アユタヤ銀行）、インドネシアのバンクダナモンなどのパートナーバンク<sup>1</sup>を通じて、米国と東南アジアにて、現地の中小企業や個人のお客さま向けに金融サービスを提供しています。

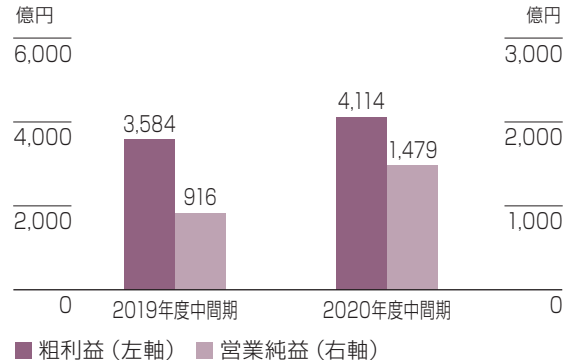
\*1 当事業本部は、MUFGUニオンバンク、クルンシィ（アユタヤ銀行）、バンクダナモン、ヴィエティンバンク、セキュリティバンク等を所管します。

### 2020年度中間期の業績<sup>2</sup>

米国金利低下に伴いMUFGUニオンバンクでは金利収益が減少しましたが、クルンシィ（アユタヤ銀行）での預金・貸出残高の増加、バンクダナモンの連結化、経費削減の効果などにより、粗利益・営業純益ともに前年同期比で増加しました。

\*2 管理計数。現地通貨ベース。MUFGUニオンバンク・クルンシィ（アユタヤ銀行）の計数にはグローバルコマーシャルバンキング事業本部帰属分のみを含み、その他の事業本部に帰属する分を除く。バンクダナモンはエンティティベース。

### 粗利益／営業純益



## 受託財産事業本部

資産運用（AM<sup>1</sup>）、資産管理（IS<sup>2</sup>）、年金の各事業において、高度かつ専門的なノウハウを活用したコンサルティングや、運用力と商品開発力の向上に取り組み、国内外のお客さまの多様なニーズにお応えしています。

\*1 Asset Management

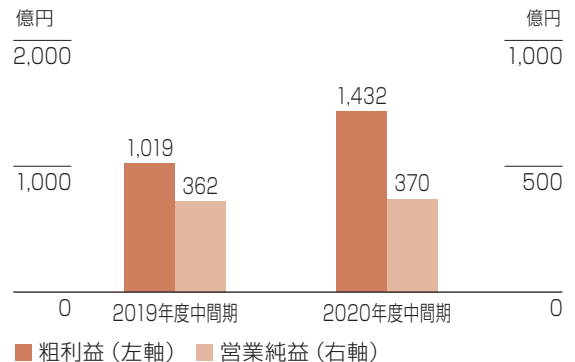
\*2 Investor Services

### 2020年度中間期の業績<sup>3</sup>

海外の資産運用子会社ファースト・センティア・インベスターズの連結効果に加え、海外のISビジネスでのファンドファイナンス等の包括サービス拡大や資産管理残高増加を背景とした増収もあり、粗利益・営業純益ともに前年同期比で増加しました。

\*3 管理計数。現地通貨ベース。

### 粗利益／営業純益



## 市場事業本部

金利（債券）・為替・株式のセールス&トレーディング業務<sup>1</sup>を中心とする顧客向けビジネスと、MUFGUの資産・負債や各種リスクを総合的に運営管理するトレジャリー業務<sup>2</sup>を主に担っています。

\*1 為替・デリバティブなどの金融商品・ソリューションをお客さまに提供するセールス業務と、銀行間取引や取引所などで市場性商品の売買を行うトレーディング業務の総称

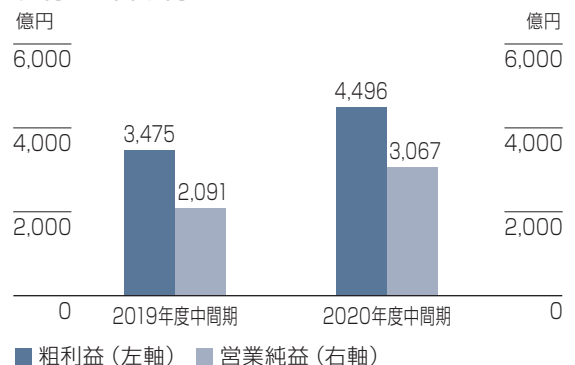
\*2 貸出などの資産と預金などの負債に内在する資金流動性リスクや金利リスクなどを総合的に管理するALM運営やグローバル投資など

### 2020年度中間期の業績<sup>3</sup>

顧客ビジネスは海外証券のセールス&トレーディング業務が収益を牽引し、トレジャリー業務は金利低下局面をとらえた機動的な操作で外債中心に売買益を計上したことで、粗利益・営業純益ともに前年同期比で増加しました。

\*3 管理計数。現地通貨ベース。粗利益、営業純益にはグローバルCIB事業本部とのジョイントベンチャー収益を含む。

### 粗利益／営業純益



## 中小企業のお客さまの成長・地域活性化への貢献

MUFGは、中小企業のお客さまの経営課題の解決に資するサービスの提供や地域活性化に向けた支援を通じて、日本経済の再生に金融面から貢献していきます。

### 中小企業のお客さまの成長への貢献

MUFGは、全国に展開する法人営業拠点を中心に、企業のビジネスステージ（成長段階）に応じて、さまざまなサービスを行っています。

#### 創業期

##### ■ 今後の成長が期待されるビジネスをサポート

Rise Up Festaは、新規性・独創性を有する事業や既存の事業領域を超えて新たな事業に取り組むベンチャー企業に対し、MUFGのネットワークや経営支援などのノウハウを最大限活かし、中長期的なサポートを提供していくプログラムです。第7回となる2020年度はオンラインでの開催となりましたが、最優秀企業4社・優秀企業5社を表彰し、支援しています。



第7回 Rise Up Festa 審査の様子

#### 成長期

##### ■ 成長企業戦略に向けた取り組み

MUFGは、事業への助言から、貸出やIPOなどのファイナンスニーズにいたるまで、グループの総力を結集し、今後の成長が見込まれるスタートアップ企業を支援しています。

2020年6月に三菱UFJ銀行と三菱UFJキャピタルは協働で、総額100億円の「MUFGメディカルファンド」を設立し、新型コロナウイルス感染症対策を含む、創薬・再生医療等を担うベンチャー企業を支援しています。

2020年10月には、クルンシィ（アユタヤ銀行）と協働で、オンライン大規模商談会を開催しました。日本、タイ、アセアン諸国から約180社のMUFGならびにパートナーバンクのお客さまが参加し、計260件以上の商談を行いました。



クルンシィ-MUFGオンライン商談会の様子

#### 成熟期

##### ■ 円滑な事業承継に向けたサポート

オーナー企業の円滑な事業承継を支援するため、MUFGでは、専門の担当者が、お客さまの事業承継に関するさまざまなアドバイスを行っています。

#### 事業再生

MUFGは、専門部署による集中サポートや外部機関との連携など、さまざまなサポートを行っています。

### 地域経済の活性化への貢献

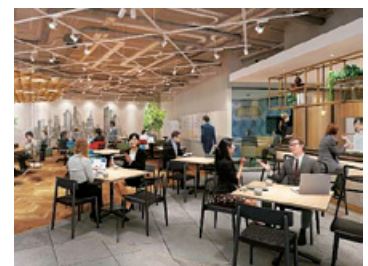
MUFGは、行政機関や地域金融機関との連携を通じて、地域経済の活性化や地域産業の育成につながる事業を支援しています。

##### ■ ALL-JAPAN観光立国ファンド

「ALL-JAPAN観光立国ファンド」は、2018年に三菱UFJ銀行が中心となって民間主導で組成した本邦初・最大規模のファンドです。地域の枠を超えた47都道府県すべてを投資対象として宿泊施設開発やベンチャー企業へ投資し、業界トップ企業の知見・情報・人材を結集したプラットフォームとして観光活性化や地域創生を推進しています。新型コロナウイルス感染症の拡大以降、大きな影響を受けた観光業やアフターコロナを見据えた宿泊施設開発などの相談が増加しており、MUFGおよび親密地域金融機関のネットワークを活用し、地域が抱えるさまざまな課題の解決に取り組んでいます。

##### ■ MUIC Kansai（ミュージックカンサイ）

MUFGと三菱UFJ銀行は、2021年2月に大阪・淀屋橋に観光をテーマとした会員制のイノベーション創出拠点「MUIC Kansai」を開設します。「観光とイノベーションの新結合」をコンセプトに、観光産業の課題解決に意欲のある大企業やスタートアップ、自治体、大学等に、オープンイノベーションの機会と場を提供し、新たなビジネスやサービスの創出を支援します。これにより、社会課題解決と観光産業および地域経済の活性化、2025年大阪・関西万博の成功に貢献していきます。



施設イメージ（コワーキングスペース）

